



発行/  
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

パンジー  
画・加納忠

## 大丈夫なのか？ 地下70mの高速道路や河川

田結庄 良昭 (神戸大学名誉教授)

淀川左岸線延伸部は、政府の都市再生プロジェクトとして位置づけられた「大阪圏の新たな環状道路」の一部を構成する道路で、門真市大字葺島から大阪市北区豊崎を結ぶ延長 8.7km の自動車専用道路です。豊崎インターから地下に入り、地下 70m の大深度の地下工事を行います。今回、それと並行するように、大深度地下河川の計画がすすんでいます。どのような問題があるのでしょうか。

### 淀川左岸線延伸部で生じる問題

#### ①地下水・地盤沈下・

##### 掘削土砂・地価下落

第1に、地下水への影響です。立坑の工事に際し、現場に地下水が入らないようにするため、コンクリートの止水壁が作られます。その結果、地下水の流れが変わり、周辺の地盤沈下を引き起こす恐れがあります。最悪地下水が枯れる可能性もあります。当然、地表では地盤沈下が生じます。第2は、掘削土砂の行き先問題です。第3に、地価の下落です。大深度であろうとなかろうと、地下にトンネルがあると、地価が2パーセント下落するというのが不動産業界の常識です。

#### ②上町断層・軟弱海成粘土層

この道路の入り口の豊崎インタ

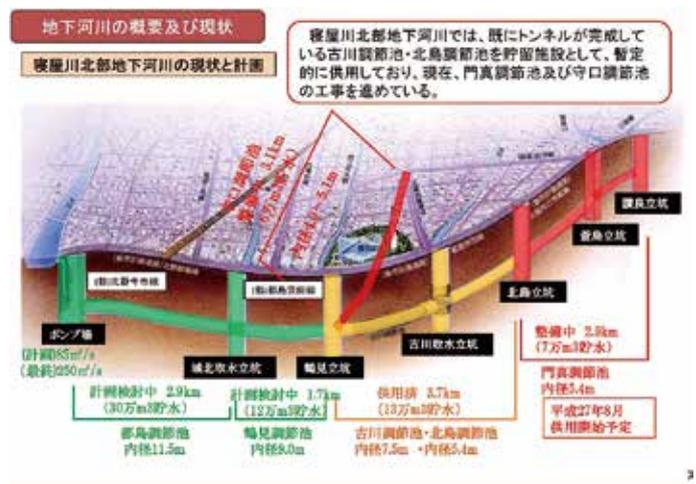
ー付近には上町断層が分布します。上町断層は大阪平野を南北に貫く第一級の活断層です。政府の地震調査では、30年以内に2-3%の確率で、

M7.5 規模の地震が発生する可能性が報告されています。もし、断層が動けば、延伸部は崩壊するでしょう。

地下 70m には、大阪層群（洪積層）の約 30 万年～ 300 万年前の地層が分布し、上町断層で隆起した上町台地で傾斜しています。シールド工法で掘り進むと、海成粘土層と砂層の境界付近で崩壊がよく起こります。また、道路の利用が始まると震動、低周波も大問題です。

#### 「寝屋川北部地下河川」の問題点

これまで地下河川の整備は、都市計画道路の整備にあわせ、その道路下に整備してきましたが、今後整備する区間は、道路の整備進捗を待たずにできる、「大深度地下使用法」に基づく大深度地下で



すすめます。大阪府はその使用認可の取得をめざしています。問題は、左岸線延伸部工事と同様の問題が起こることです。最も大きな問題は、上町断層の影響が考慮されていないことです。

#### 都島区の河川氾濫による洪水と地下河川

国土交通省近畿地方整備局は、淀川で洪水が起きた場合の新たな洪水浸水想定区域を公表しました。それによると、都島区では、2.5m から 5.5m の浸水となり、最大2週間程度浸水するとされています。地下河川にどんな影響があり、どんな役割を果たすのか未得知です。

(文責・藤永のぶよ)